



連携・協働をテーマに 新事業も着々と

ひたち生き生き百年塾は連携・協働をテーマに事業に取り組んでいます。ネットワーク者として、各種団体や機関

と連携しながら、百年塾の理念である「まちづくり、人づくり」への新たな事業へもチャレンジしています。

コミュニティ推進会へ 役立つ・楽しい講座を提案

百年塾の5部会(情報・ネットワーク・人財・学校・産業)が、それぞれの得意分野で「役に立つ、楽しい」講座を、今年度初めてコミュニティ推進会に提案しました。これらの講座はネットワーク部会を窓口にして、23単会会長で組織するコミュニティ推進協議会に提案、これを受けて5つのコミュニティ推進会(単会)から申し込みがあり、事業実施となったものです。

●11月11日(木)、情報部会が

担当する「デジカメ教室」が豊浦学区まちづくり推進会からスタートし、これを皮切りに来年1月まで続きます。

●11月24日(水)、ネットワー



にぎやかに写真の取り込み教室

ク担当の「他地区の得意料理」は田尻学区コミュニティ推進会。

●11月28日(日)、産業部会担当の「地魚料理講習会」は河原子学区コミュニティ推進会。

●12月6日(月)、情報部会担当の「ホームページの更新の仕方」は宮田学区コミュニティ推進会。

●23年1月、ネットワーク担当の「野菜料理教室」は中小路学区コミュニティ推進会。

豊浦学区で実施された「デジカメ講座」の講師は、内藤達郎さんと「きららホームページ」の仲間たち。当日はネットワーク部会のメンバーも出席して、この事業のスタートを見守りました。

この講座へ参加の呼び掛けを担当したのは、豊浦学区まちづくり推進会で、当日の参加者は13名。写真を趣味とする『写友会』のメンバーである人も多く、デジカメで撮った自慢の写真の取り込みや編集作業を楽しそうに学んでいました。

この新たな連携事業でコミュニティ推進会にも、新しい出会いや交流、情報交換の場が創出できると同時に、百年塾も他の団体との連携の足がかりとなりました。

今後も積極的に事業提案や協働事業を進めていくこととなります。

地産地消フォーラム

とき 平成23年2月19日(土)
ところ シビックセンター502号室
たくさんの市民の方の参加をお待ちします。詳細はポスター・チラシをご覧ください。

新しい事業につなぐ 仮称：メディア探検少年団

今年の「百年塾フェスタ」では百年塾メディアセンターを開設、小学生や中学生、高校生を対象に「子どもレポーター」を募集しました。

応募したのは小学生が5名、高校



ドキドキの初チャレンジ

生が12名で、記者やカメラマンとしてフェスタ会場の様子を記録、「FMひたち」イトーヨーカドーサテライトスタジオで、正午～午後2時の「ハラペコキッズ」の時間帯を、D

Jのジュームス英樹さんに助けられながら、百年塾フェスタの様子などを放送しました。

スタジオ前には家族や友だちが集まり、ドキドキしながらチャレンジする子どもたちを応援しました。「楽しかった！」の子どもたちの声を聞くことが出来ました。

この「百年塾メディアセンター」の開設は、子どもたちが記者、アナウンサー、カメラマンなどを体験することによって、様々なメディアに関心を持つ機会にすると同時に、来年度立ち上げ予定の子どもたちが「伝える」能力を身につけることを目指す「仮称：メディア探検少年団」につなぐ目的もありました。

今後、連携できる企業や団体、グループを探しながら、子どもたちの成長を助ける「日立市職業探検少年団」の一つとして設立を目指します。

学校・幼稚園 特色ある取り組みで楽しく

郷土カルタに学ぶ

中小路小学校

中小路小学校では4年前から、全校をあげて郷土カルタの活用に取り組んでいます。

日立中央ロータリークラブが中心となって作成された郷土カルタは日立を知る上で貴重なものであり、子どもたちのみならず多くの人たちに知ってもらおうと始められたものです。

カルタの札は56枚。まず暗唱することから始め、各クラスで練習をしながら年に1回開かれる全校での



郷土カルタ大会 (中小路小)

大会を目指します。子どもたちすぐに札を覚え、試合では下の学年が上の学年に勝つこともあるそうです。

試合は3人1組の団体戦で、ロータリークラブが所有している特製の試合ボードを使って行います。郷土カルタ制作委員会が決めたルールに基づいて行われる本格的なもので、判定は研修を受けた保護者が審判員を務めます。11月5日に行われた全校カルタ大会では、保護者や地域の人たちが見守る中、白熱した試合が繰り広げられました。

担当の澤幡真由美先生によると、子

私たちは百年塾運動を応援します (敬称略) 2010.8.25~11.15

(有)自由工房 日立市建設業組合 日立土木(株) (株)日立ライフ 藤和建设(株) (株)山森 (株)ゆなご教材舎 (社)茨城県日立医師会 常陸観光バス(株) (有)丸市本店 八方寿司 (株)白土工務店 日立北ロータリークラブ (株)日青プラント 日立高速印刷(株) 八重

どもたちはカルタを通して日立や自分たちの地域に関心を持つことはもとより、試合で集中力や聞く力が育まれ、ルールを守ることや協力の大切さなど多くを学んでいくそうです。

家族でカルタを楽しむ家庭も多く、郷土カルタは地域にもしっかりと根付いているようです。

文化祭で百年塾と連携

久慈中学校

久慈中学校恒例の文化祭「黒潮祭」が11月5日・6日の両日開催され、学習発表や講演会、講座体験、合唱コンクールなどが行われました。

同校では「黒潮祭」を久慈中の文化を創造し受け継ぐ伝統あるものとして大切に、生徒会役員を中心とした実行委員会が独自性を活かした企画・運営で文化祭を盛り上げます。

その中の講座体験は同校と百年塾が連携、『百年塾チャレンジ』と題して14の講座が一斉に行われました。

日本や久慈地区の伝統・文化を学びたいと実行委員会が選定したのは、美術、理科・科学実験、茶道、手話、



茶道体験 (久慈中)

スポーツなど多種。招かれた市民教授の人たちも講座の実施を楽しみにしていたそうで、生徒たちを前に指導にも熱が入ります。各講座の生き

その地域ならではの取り組みで、園児や児童、生徒たちが生き生きと活動する園・校を取材しました。

生きとした様子を見て回った実行責任者の菅野日菜子さんは「みんなが楽しんでくれて嬉しい。黒潮祭が終わったらみんなで市民教授の先生方にお礼状を書きます」と話します。

『百年塾チャレンジ』を通して生徒たちは、文化の素晴らしさと共におとなたちとの関わり方など様々なことを学ぶ機会になったようです。

みんなで創る本との出会い

金沢幼稚園

金沢幼稚園は園児たちの本に対する関心を育てようと、園と家庭、地域が一緒になって本との出会いのきっかけづくりをしています。

その一つ「メルヘンタイム」は、



読み聞かせの「メルヘンタイム」(金沢幼稚園)

園の目標「心がやさしく、なかよく遊ぶ子」を目指し、週一回、地域のボランティアの人や保護者が絵本の読み聞かせをしています。園児たちは瞳を輝かせて聞き入り、読み終わると拍手してお礼を言うそうです。

「読み聞かせを通して相手を思いやる心が育っているようです」と先生。遊びを通して自分たちで絵本を作り教室で読み合ったりもします。園児たちは絵と言葉で実に良く表現するそうです。

また影絵同好会に影絵の作り方、遊び方、発表までを教わり、未就園児と一緒に楽しむ計画もしています。

11月には保護者対象に「読書から学ぶ育てのあり方」の講話もあり、家庭における絵本の読み方、心の育て方などを学んでいます。

今年百年塾推進園・校となり、事業の一環で子どもたちに新しい本を購入できたのが嬉しかったそうです。

それぞれの生涯学習 自分らしく 楽しく さりげなく

夢も膨らむバルーンアート

最近いろいろなイベントで、色とりどりの風船からさまざまな形を作り出す青年を見かけませんか。

マジシャンのようなこの人は、茨城キリスト教大学4年生の大森佑樹さんです。

大森さんは高校時代、先輩のボランティア活動に影響を受け、風船を使った「バルーンアート」を独学で学びました。バルーンアートには世界基準があり、細長い風船をひねったり結んだりして形を作ります。ネ



人気者は引っぱりだぞ

ズミや犬、うさぎなどの動物シリーズ、カラフルな風船を組み合わせた

冠や花など多彩です。

イベントに参加するようになったきっかけは、腕を磨くために水戸の公園で演じていたところ、それを見た介護施設の職員に声をかけられたことだそうです。以来、公共施設や学校、福祉施設などを中心に活動しています。

リズムカルで見事な手さばきになると大人も子どもも見とれ、形が出来てくると歓声が上がります。冠を頭に載せて大喜ぶする子、作品を大事そうに抱える子など大森さんの周りにはいつも笑顔に包まれます。「みんなのびっくりする顔を見るのが大好き。さらに腕を磨きたい」と話す大森さん。風船と共に夢も膨らみます。

講座が縁で地域のスタッフ

塙山学区で参加者を募集した、シニアのため地域参加講座「わいわい楽集会」に応募したことが、コミュニティの活動に関わるきっかけになった」と語る古田真さん。

埼玉県から日立に移住して4年余り。当初は気候、風土など日立のことが知りたくて、百年塾機関紙「ひろば」で広報された「市民教授の講座」や「郷土日立の歴史・地理講座」などに積極的に参加したと言います。

地元である塙山学区にもとけ込みたいと思い、「わいわい楽集会」に参加したことで、多くの人の顔と名前が一致するようになり、楽しい時間を過ごしました。2年目にもこの



今日は学童クラブのスタッフ

講座に応募した時、「スタッフとして活動してほしい」との役員からの要請に、「人の役に立つならば」と引き受けました。そのことがきっかけになり、現在では塙山学区の生涯楽集担当や学童クラブ『わくわく広場』のスタッフ、各種の動員など忙しい毎日を送っています。

「自分から飛び込んだおかげで顔なじみが増えた。健康である限り続けたい」と自然体で活動しています。

シリーズ コミュニティ訪問④

水木学区コミュニティ推進會

10月3日開催の百年塾フェスタでひととき盛況なテントがありました。テントに入りきれないほどの女性たちが田舎まんじゅうを作り販売、それを買求める人が列を作っていました。それが水木コミュニティで、36人の人が応援に駆けつけたそうです。

同推進会の高橋会長と古川事務局長によると、水木地区の人たちは活動に積極的でよく協力してくれるそうです。

高齢者連合会がコーラスを始めたので推進会が場所の提供などサポートしたところ、地域の人も次々と加入し、最近では近隣地域とも一緒に活動するなど輪を広げています。

フェスタで田舎まんじゅうを買っ

た人から「とても美味しい」と言われ、さらにヤル気が出てきたそうです。11月24日には田尻コミュニティから作り方を教えてほしいと依頼があり、8人が出かけてきました。

水木交流センターの庭やゲートボー



協力しあっておまんじゅう作り

ル場の芝も植栽部のグループが先頭に立って手入れをしているそうで、内外ともに多方面にわたって活発な活動を展開しています。

市民教授（新登録）

2010.6月～11月に登録された方(敬称略)

- 菊地則子 高萩市有明町(シルバーアクセサリ)
- 三井興志子 金沢町(ニュースポーツ)
- 山田啓子 高萩市下手綱(茶育)
- 三枝洋子 川尻町(スポーツ吹矢)
- 小黒栄一 東成沢町(スポーツ吹矢)
- 大内久代 田尻町(健康運動:エアロビクス・ステップエアロビクス・アクアエアロ)
- 市村陽子 水戸市元吉田町(エイズ予防教育)
- 鈴木慶子 中丸町(中国式健美操・中国語)
- 宮田真歩 金沢町(ヨガ)
- 今橋克寿 会瀬町(実践「ワークショップ」・「いいねがいっぱい」日立エコミュージアム)



百年塾ひろば

「百年塾ひろば」を充実させるために、市民の皆さんのご意見や情報をお寄せください。



エコ・環境をテーマに



手づくりは楽しい!



張切重ねてつくる器



手づくりコーナーは親子でいっぱい

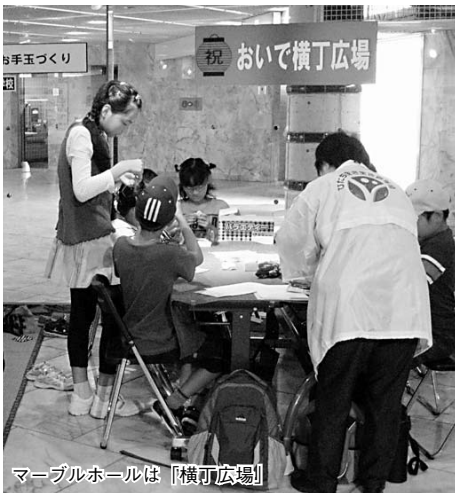
写真で見る「百年塾フェスタ2010」

2010.10.3(日) 10:00～16:00

人づくり、まちづくりをテーマに、活気あふれるフェスタを開催しました。各種団体や学校、機関が集結! どのブースも子どもたちの笑顔であふれて、賑わいを見せていました。



日本のルーツは、日立から!
「日立の山地は、日本最古の地層」
大人気「日本最古の地層」



マープルホールは「横丁広場」



1日記者が放送前の取材中



人にやさしく地球にやさしく(楕形水発表)

ご協力おかげで

エコキャップ集めに63,200個が集まり、800個で一人の子どもの命が救えるポリオワクチン79人分を送る

ことができました。

また、海外の教育支援のための募金ビッグハートには29,000円が寄せられました。

「いばらぎじゃなくていばらき」の著者

青木智也氏講演会

知ればおもしろ茨城県

■とき 平成23年2月5日(土) 13:30～15:30

■ところ 日立シビックセンター 502号室

執筆、講演、ラジオ出演などで活躍中、茨城県まちづくりアドバイザーの青木智也氏が、「自分が知らない茨城・日立」を楽しく解説します。

■問合せ 百年塾サロン TEL 23-9165

第4回 ひたち学への招待

「この街を語る」

とき 12月11日(土)・12日(日)

ところ 茨城キリスト教大学

内容 ■11日(土) ①映画「降りてゆく生き方」(10:00～12:30) ②パネルディスカッション～わくわくする街「ひたち」をめざす、若者たちの挑戦～(13:15～17:15) ■12日(日) 未来デザインワークショップ(全体討論)(13:00～18:00) ■無料/申し込み不要(百年塾が後援します)